

子どもを育てる 学校を育てる **教師が育つ**

【 学校教育目標 】

「かがやく東部っ子 ～ かしこく、やさしく、たくましく～」

めざす児童像	かしこく	「 <b>主体的</b> に学習する児童」
	やさしく	「 <b>友達</b> を大切に <b>する</b> 児童」
	たくましく	「 <b>健康で粘り強く取り組む</b> 児童」

- めざす学校像 「地域に開かれた信頼される学校」
  - ①笑顔があふれ、明るいあいさつが交わされる学校
  - ②安全・清潔で、児童が安心して過ごせる学校
  - ③元気で、活気あふれる、特色ある学校

- めざす教師像 「信頼され、尊敬される教師」
  - ①児童の思いや心の痛みがわかる、愛情あふれる教師
  - ②研修を積んで創意ある教育活動ができる、知性あふれる教師
  - ③児童と共に学び、遊び、働く、情熱あふれる教師

経営の方針

～子どもを育てる～

(1) 学力向上 「かしこく」

- **主体的に学習に取り組み、自ら課題を見つけたり判断し表現したりできる場の工夫を行う。**
- 基礎基本の定着と読解力・探求力の育成のために、学習方法・学習形態の工夫を図るとともに、個に応じた指導を行う。
- 体験活動を生かした学習指導の充実に努め、知的好奇心を喚起するとともに、横断的・総合的な学習を行うためのカリキュラムマネジメントを推進する。

(2) 豊かな心の育成 「やさしく」

- **自他の生命を尊重するとともに、相手の立場になって助け合えるような思いやりの心を育てる。**
- 道徳教育や学校人権教育を推進するとともに、豊かな人間関係づくりのための交流教育を実施する。**※かかわり方・つながり方の工夫**
- 人と関わる機会が豊富な教育活動を活かし、様々な活動を通して仲間・地域の大人・保護者・学校の職員への感謝の気持ちを育てる。

(3) 健やかな体と心の育成 「たくましく」

- **自ら立てた計画や目標に向かって粘り強く努力する態度を育成するとともに、体力向上を目指す。**
- 自分自身を見つめる目を育て、将来の夢を育むとともに、学ぶ意義・働く意義・生きる意義を感じられるキャリア教育を推進する。
- 特別活動を通して自主的・自治的な態度の育成を図るとともに、学校や人の役に立とうとする意欲を育てる。
- 怪我や病気（感染症を含む）・事故を自分自身で予防する健康・安全教育を充実するとともに、望ましい食習慣を身につけるための食育を推進する。

～学校を育てる～

(4) 生徒指導の充実

- あいさつを一層推進させるとともに、**生活リズムの確立**や人との関わり方・言葉遣いや礼儀など、**良い生活習慣**を身につける指導を推進する。
- **特別支援教育を全校体制で取り組む（共生社会を目指して）**とともに、一人一人の児童を大切にするために、児童・家庭との信頼関係を構築し、児童と児童を取り巻く環境を把握し、必要に応じて地域・関係機関との連携を図る。

(5) **学校・家庭・地域の三者連携**

- 学社連携を進め、地域と連携した教育活動（農業体験、特別支援学校との交流、地域団体との連携行事）と東部地区学校間交流（三校合同）を展開するとともに、地域の安全・安心のために地区別一斉下校や見守り等を実施する。
- 学校の願いと特色ある教育活動を発信するために、学校だよりやHPを充実させる。
- 保護者会や学校評議員会を活用し、学校の教育活動への理解と協力を求めるとともに、学校運営を活性化させる。

～教師が育つ～

(6) **学校経営への参画意識**

- 教職員一人一人が教育目標達成に向けて「チーム東部小」として教育活動を構造化し、児童の健全育成のための実践を行う。
- 自己研修と子どもと向き合う時間を確保するために、学校体制での業務改善を図るとともに、各職員が働き方について見直しを図る。

(7) 職員研修の充実と深化

- **主体的で粘り強く学びに向かう力を育成するための「協同学習」「学び合い」「振り返り」を積極的に取り入れた授業実践を進める。**
- NICT プロジェクトを意識し、**Chromebook**を有効活用できるよう研修・実践に取り組む。
- 学年・学級経営、校務分掌で **OJT と OFF-JT による**人材育成を図る。
- **人権意識、規範意識を持って職務にあたる**とともに、業務改善を図る。

今年度の重点

<p>(1) 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力テスト等の分析と指導方法の検証</li> <li>・ 課題選択と個別指導の提供（土曜授業を含む）</li> <li>・ <b>効果的なチームティーチング</b></li> <li>・ 読書習慣の推進とマイ辞書の有効活用</li> <li>・ 児童主体の計画的な家庭学習への指導（eライブラリ含む）</li> </ul> <p>(2) 児童活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治的で主体的な児童会・委員会活動・<b>奉仕活動</b></li> <li>・ あいさつ運動・清掃活動の活性化</li> <li>・ 児童の活躍の場としての部活動の在り方の見直し</li> </ul>	<p>(3) 特色ある教育活動づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決学習となる<b>地域体験学習のねらいの明確化と系統化</b></li> <li>・ 家庭との連携を目指す保護者会、学校評価</li> <li>・ HP・学校だよりによる学校の広報活動</li> <li>・ 地域・三校連携のメリットを活用した育てる目標の明確化</li> </ul> <p>(4) 教師力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を中心として、朝・土曜・家庭と関連させた指導の在り方</li> <li>・ 校外研修の伝達、積極的な若年層研修・<b>教材研究の充実</b></li> <li>・ <b>時間を生み出すための業務改善</b></li> <li>・ 各自の見通しある業務と学級事務支援員の活用</li> </ul>
--	---

